

NO.

09

なかの号通信

2026年
2月発行

充実コラムと私たちの想いをお届け！

目次

中野晴啓よりメッセージ.....	2
運用チームからのメッセージ.....	3 - 4
投資についてちょこっと一言.....	4
PICK UP COMPANY.....	5
投資コラム「トレンドとサイクル」(その12)バリュー投資⑥..	6
ご自身にあった選択肢を考える 顧客本位の相談室.....	7
セミナー情報.....	8
大阪取引所見学ツアー終了のご報告.....	9

昨年から「なかの号通信」をリリースいたしました。
マンスリーレポートとあわせて、ぜひご覧ください。



なかの号通信



1/31 楽天証券新春フォーラム2026なかのアセットブースにて

中野晴啓よりメッセージ

2026年は米国のベネズエラ軍事介入から始まり、グリーンランド問題にイラン内乱への関与示唆など、トランプ大統領の戦後国際レジーム破壊に向けた世界への挑発に、マーケットは揺らぎを示しましたが、程なくリスクオオンへと回帰して、日米欧共に高値圏で推移しています。さて、日本では意表を突いた衆議院解散で、与党のみならず大半の野党も消費税減税を政策に掲げたことから、国内財政規律の緩みを懸念した長期金利の急上昇で市場は反応しましたが、与党優勢の選挙予測から株高トレンドが復活している印象です。

選挙後にこの政策が本格展開されれば、市場からの洗礼としての「長期金利急騰」を招き、政策が八方塞がりとなる恐れがあります。すなわち、株安・円安・債券安という「トリプル安」への転換シナリオさえ、憂慮せざるを得ません。

勿論政策が好循環を生み出すことを、日本の生活者として祈りつゝも、マーケットの渦中に身を置く者として、冷徹な客観視を持つて、あらゆる経済環境下でも安定して企業価値を伸ばす力を有する強い企業を、忍耐強く保有することこそ、何より肝要であると考えているわけです。

長期投資で

生活者と社会の幸せに

貢献する

運用チームからのメッセージ

毎月、運用チームのメンバーが徒然なるままに記述をしています。
メッセージを通して、運用チームを少しでも身近に感じていただけたと幸いです。



山本 潤
運用部長
チーフポート
フォリオ
マネージャー

クオリティ・グロース企業にとつて金利上昇は逆風です。日本は財務レバレッジの高い銀行や資源株が急騰し日用品や生活必需品関連が下がる厳しい展開でした。ただ、長期の複利効果をしっかり具現するために、日本および世界の両ファンドの期待リターンは参考指數を上回る状況です。じっくりと腰を据えて戦います。



菅 淑郎
シニアポート
フォリオ
マネージャー

毎年1月下旬の週末は全日本卓球選手権観戦です。男女シングルスとも壮絶な試合が多数展開され、高校生世代がいずれもチャンピオンに。5月初旬にロンドンで開催される100周年記念・世界卓球団体戦での活躍が楽しみです。日々の鍛錬により世界に通じる高度な技とスピード・パワーあふれる姿に刺激を得て小生もあらためてエネルギーとパワーをいただいた次第です。



稲山 美知太郎
シニアアナリスト

四半期決算のシーズンがやってきました。私が担当しているコンテンツ関連企業においては、クリスマス商戦などの影響で業績が盛り上がるタイミングとなります。日本のコンテンツ産業は今後の日本の重要なポジションを担うと考えられ、足元で稼いだキャッシュをどのような長期的成長に振り向けるかに注目しています。



清沢 星治
アナリスト

初土俵から本年初場所の千秋楽まで積み上げた1,763回の連続出場。玉鷲関の偉業はギネス世界記録「大相撲最多連続出場」に認定されました。継続することの難しさと尊さを教えられます。私もその姿勢にあやかり、いかなる相場環境でも屈せず、皆様と長い道のりを共に歩めるよう、粘り強く職務に励んでまいります。



関口 耕大
アナリスト

調査において短期の業績もチェックしますが、長期で会社がどのような業績を残してきたか、また、どのような経営判断を行ったかも時に大事だと感じます。現在調査中のある銘柄では、まさに30年前の意思決定がその後の成長を左右したと思います。休日に図書館に行き、社史を読んではじめて、競争優位の源泉が腑に落ちた次第です。

運用チームメンバーがリレー形式で投稿しているnoteはこちら



ご連絡



1月末でアナリストの大月が退職しました。彼とは前職から一緒にクオリティ・グローズ運用の高みを目指して来た大事な仲間ですが、別天地で修行したいとの強い想いを受け入れて、快く送り出しました。グレードアップした彼の姿を楽しみに待ちたいと思います。運用チームはベテランから若手まで改めて再編成を図り、更なる強い運用集団へ昇華させてまいります。新メンバーにもご期待ください！

代表取締役社長 最高投資責任者 (CIO) 中野 晴啓

この度、1月末をもってなかのアセットマネジメントを退職することとなりました。在職中は格別のご支援と多くの学びを賜り、誠にありがとうございました。ファンド設立時より、皆さまの大切な資産形成に携わる機会をいただけましたこと、心より感謝申し上げます。皆さまの資産形成が今後ますます実り多いものとなりますよう、お祈り申し上げます。（大月）



投資についてちょこっと一言

インフレに負けないためには



なかのアセットご意見番
房前 睿明

積極財政・低金利・円安、普通に考えれば高インフレ時代の到来はほぼ間違いないように思える。ならなければそれに越したことはないが、インフレとは、はっきり言ってしまえば、家計から国への富の移転を意味するから、黙っていたら自分の資産価値はどんどん目減りすることになる。今だって、結構問題視されているのに、これ以上となったら大変なことだ。かといって、政策として決まってしまえばわれわれにはどうすることもできないだろう。インフレに勝つことはできなくても、せめてできるだけ被害を少なくすることが求められている。対策が打てるひとは躊躇なくやるべきだろう。たとえば企業の売り上げは、価格転嫁できる企業である限り、インフレとともに伸びるはず。そうした企業の株式にしっかり投資できれば、株価の上昇によって、ある程度のインフレヘッジにはなるはず。いずれにしても、インフレ率以上に預金金利が上がらなければ、預金では価値は自動的に減っていくわけで、いやでも投資に向き合わざるを得ない局面が来たと言わざるを得ない。（令和8年1月30日）



房前さんはどんな方？

東京大学法学部を卒業し、米国イリノイ大学ロースクール修士課程を修了。山一證券でキャリアをスタートし、インベスコ投信投資顧問で取締役を務めるなど、運用業界での豊富な経験を持ち味です。代表の中野とは20年来の盟友であり、なかのアセットマネジメントの設立にも深く関わった一人です。現在は、客観的かつ冷静な視点から、当社の運営を力強く支えています。

「なかの日本成長ファンド」「なかの世界成長ファンド」に組み入れている銘柄の中から1社を取り上げご紹介します。

PICK
UP
COMPANY

コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90（適格機関投資家限定）

シュナイダーエレクトリック



AIと脱炭素の交差点に立つ、 エネルギー管理の世界的リーダー

シュナイダーエレクトリックのパーソンズは、「私たちのエネルギーと資源を最大限に活かせるよう、すべての人を力づけ、進歩とサステナビリティをつなぐ」です。これを同社はLife Is Onと呼んでいます。同社は、単なる電機メーカーの枠を超えて、エネルギー管理（Energy Management）と産業オートメーション（Industrial Automation）を核に、世界のデジタル変革と電化を牽引するオーケストレーターです。同社が掲げる「Life Is On」という合い言葉には、あらゆる場所で、あらゆる人が、あらゆる瞬間にエネルギーを享受でき、持続可能な未来を築くという深い人間愛と公共への責任が込められています。

また、同社の経営陣は、地政学的なリスクに対しても極めて柔軟かつ強靭な「マルチ・ハブ」戦略を採用しています。特定の地域に依存せず、世界各地で意思決定と供給が完結する多様性重視の体制を構築したことは、不確実な現代において、公共インフラを支える企業としての義務を果たすための「規律ある攻め」の姿勢を象徴しています。彼らが取り組むのは、老朽化した送電網の近代化や建物の電化です。世界のCO2排出量の約40%を建物が占めるという事実に対し、同社は「デジタル化（Digitization）」と「電化（Electrification）」を組み合わせた「Electricity 4.0」を提唱しています。これは、無駄なエネルギー消費を徹底的に排除し、地球の限界を守りながら人類の発展を支えるという、極めて公共性の高い挑戦です。

共感を生むビジョン：次世代への責任

同社の魅力は、その実績以上に、未来に対する「誠実さ」にあります。彼らは自社の利益だけでなく、サプライチェーン全体の脱炭素化を支援し、環境負荷の低減をビジネスの成功指標と同等に扱っています。

住宅市場や一部の製造業が調整局面に立たされる場面でも、彼らの歩みが止まることはありません。潤沢なキャッシュフローは、次世代のための研究開発や、志を共にする企業との戦略的買収、そしてステークホルダーへの還元へと、高い倫理観に基づき配分されます。

「利益を追求することが、地球を救うことにつながる」。同社が体現するこのビジネスモデルは、これから資本主義があるべき姿そのものです。エネルギーの未来を再定義し、持続可能な社会という「共通善」を実現するために、彼らは今日も現場で、そしてデジタル空間で、静かな熱意を持って変革を続けています。

運用部長 山本

「トレンドとサイクル」(その12)バリュー投資⑥

これまでの3回の投資コラム（その9、10、11）では、企業経営において非財務価値である「人的資産」の重要性が高まっていること、「人的資産（人財）」をどのように育成・活用しているのかの開示が進んでいること、その取り組みは企業全体の経営戦略や付加価値創造にどのように位置付けられていて計数管理されているのか、について概観してきました。

今回は「人的資産」への取り組みが、企業の財務会計においてどのような効果をもたらすのか、また企業が従業員に投資して得られたリターンをどのように掌握するのかという定量評価について、議論の変遷と考え方を簡単に見てみたいと思います。

2022年6月に内閣府の非財務情報可視化研究会は「人的資本可視化方針」（全51ページ）を公表しました*。そこでは、

- ① 人的資本の可視化を通じた人的投資の推進に向けて（背景と指針の役割）
 - => 可視化の前提として経営戦略・人財戦略の策定が必要
 - ② 人的資本の可視化の方法
 - => 経営戦略と人的資本への投資との関係性（総合的なストーリー）の構築が必要
 - ③ 可視化に向けたステップ
 - => 基盤・体制確立と可視化戦略構築と、両者を投資家との対話で磨き上げる
- という具体的なアクションプランが明示されています。

* 「なかの号通信」（No.7：2025年12月発行）参照

さらに、人的投資・経営戦略・資本効率・企業価値向上の関係が、財務会計的に一気通貫で整理されており、人的投資が企業の利益率の上昇と総資本回転率の向上につながることで、ROIC（投下資本利益率）やROE（自己資本利益率）の向上という資本効率が改善し、PER（株価収益率：成長期待が高まる）という、“勝者のスパイラル”が説明されています。実際への取り組みのガイダンスとしては、“ステップバイステップ”として出来るところから開示した上で、開示によるフィードバックを取り入れていきながらブラッシュアップしていくことが、企業価値の向上につながるので望ましいとしています。

企業が従業員に投資したリターンを評価する方法としては、「人的資本ROI（投資利益率）」という定義式があり、国際規格「ISO30414」で認知されている概念です。人件費1単位当たりの事業収益の効率性を定量評価します。

$$\text{「人的資本ROI」} = (\text{事業収益} - \text{人件費除く経費}) \div \text{人件費} - 1$$

人的資産の育成・拡大と、経営戦略のなかでの位置付け、その成果の財務会計上での捕捉、投資家への開示とフィードバックのコワークなどは、いずれも2020年代に入って急速に人口に膾炙してきた、上場企業の経営と投資評価における重要な概念・方法論であり、今後も進化・高度化していくことが予想されます。



▶ 『人的資本可視化方針』（その2）

- ① 人的資本の可視化を通じた人的投資の推進に向けて（背景と指針の役割）
- ② 人的資本の可視化の方法
- ③ 可視化に向けたステップ

▶ 『人的資本ROI（投資利益率）』

$$\text{人的資本ROI} = (\text{事業収益} - \text{人件費除く経費}) \div \text{人件費} - 1$$

これまでの「トレンドとサイクル」はこちらからご覧ください。
※マンスリーレポート3月～5月、なかの号通信6～1月号に掲載



田淵 英一郎

野村證券投資信託委託（現野村アセットマネジメント）に1978年入社、資産運用業務に47年間従事。企業調査アナリスト5年、ファンド運用17年、資産運用マネジメント業務17年、監査業務8年などを経験。野村アセット執行役員株式投信運用部長、野村ファンド・リサーチ常務取締役、みんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）常勤監査役などを歴任。2024年7月より、なかのアセットマネジメント株式会社常勤監査役。美術検定2級、城郭検定2級修得。

ご自身にあった選択肢を考える 顧客本位の相談室

結局、私には「NISA」と 「iDeCo」どっちが良いの？

Q.iDeCoを数年放置。このままで良いのかな？

Q.自分にとってiDeCoをやるメリットがあるか
わからない。結局、NISAだけで良い？

Q.これから積立設定、今後の生活に無理
なくできるかな？

1月は『新年の整え』として、多くの方が資産の引っ越しや
NISAの再設定にいらっしゃいました。

2月は『iDeCoの放置銘柄の点検』を強化しています。
一見制度は難しいですが、やるべきことは意外とシンプル。
1時間あれば操作の不安も将来の不安も、一緒に解決！



担当：高野具子
(FP資格保有)

『自分の現在地』を確認したい方、
ぜひお気軽にご相談ください。

1月より対面・ZOOMでのご相談時間を“1時間”に拡大！
じっくりお話し下さい。

お申し込み方法

※ご相談料は無料です。

①お電話の場合

03-3662-1401

[受付時間] 9:00-17:00
(土日・祝・年末年始は除く)

②お申し込みフォームの場合



YouTubeも公開中♪





セミナー情報

◆2月セミナースケジュール◆

日付	時間	地域	概要	会場
2月7日(土)	11:00 - 13:00	大阪	満員御礼 みたて王子・中野晴啓氏が語る>学びを行動に変える! 資産運用の実践とマーケット展望 (主催:高島屋ファイナンシャル・パートナーズ)	スイスホテル 南海大阪 8階「白鳥」
2月8日(日)	14:00 - 16:00	金沢	長期投資で資産を育てる 今こそ学ぶ正しいお金の知識	石川県女性センター 大会議室
2月11日(水祝)	11:00 - 13:00	日本橋	満員御礼 みたて王子・中野晴啓氏が語る>学びを行動に変える! 資産運用の実践とマーケット展望 (主催:高島屋ファイナンシャル・パートナーズ)	日本橋高島屋 三井ビルディング 日本橋ホール
2月21日(土)	14:00 - 15:30	茅場町	広田証券×なかのAMコラボセミナー 「人生100年時代の新常識。プロが教える『攻め』の 運用と『守り』の出口戦略」	広田証券 東京支店 7階

＼告知/長期・本質・制度を1日で学ぶ「長期投資で資産を育てる」セミナー



3月1日（日）広島で開催される『長期・本質・制度を1日で学ぶ長期投資で資産を育てる』（主催 tomato-web）に代表・中野晴啓とご意見番・房前督明、そして年金制度の第一人者・井戸美枝さんが登壇します！

将来のお金に不安はあるけれど、「何から学べばいいのかわからない」そんな方にこそ、聞いてほしいセミナーです。実務と理論に精通した3人の講師が、「今本当に知っておくべき投資の考え方」を、わかりやすくお伝えします。

日時：2026年3月1日（日）13:30 - 16:30

会場：エールエールA館 6階「ROOM4」

参加費：無料

定員：100名（先着順）

詳細・お申し込みはこちら



Follow me!

セミナーやイベントの詳細な情報は隨時当社の公式HP・SNSでご案内しております。

アカウントをフォローしていただくことで、最新情報をいち早くご確認いただけますので、ぜひご登録ください。



大阪取引所見学ツアー終了のご報告

2026年1月23日(金)「大阪取引所見学ツアー＜横山社長×中野特別対談＞」を開催いたしました。

本イベントは、なかの日本成長ファンドの投資先である日本取引所グループを構成する「大阪取引所」を深く知っていただく機会として企画したものです。

当日は大阪取引所の大発会で実施される「大株締め」をご体験いただきました！続く特別対談では、横山社長と中野が、出会いのエピソードから大阪取引所の果たす役割、そして大阪への想いまで、幅広いテーマについて語り合いました。



見学ツアーの様子



特別対談



5階OSEギャラリーでは上場体験も



「大株締め」で使う拍子木（ひょうしき）

『なかの号通信』読者アンケート



いつも『なかの号通信』をお読みいただき、ありがとうございます。

読者の皆さまのご意見・ご感想は、今後の紙面づくりにとって何よりのヒントになります。

今月の『なかの号通信』の中で一番よかったコンテンツやご意見・ご感想などございましたらお聞かせください！

また『なかの号通信』で今後取り上げてほしいテーマや関心のある話題も募集中です。

皆さまのお声を、より良い誌面づくりに活かしてまいります！

こちらよりご協力をお願いします👉



最後までお付き合いいただきありがとうございました。来月号は3/6発行予定です。

＜当資料をご利用にあたっての注意事項等＞

■当資料は、なかのアセットマネジメント株式会社の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。また、銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書（交付目論見書）に詳しく記載されております。お申込にあたっては販売会社からお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当社の投資信託は信託報酬等の費用がかかります。

■コメントの内容は過去の市場環境、運用実績および投資行動であり、将来の市場動向、運用成果等を示唆・保証するものではありません。

■当情報は発行者の許可なく転載、第三者への提供は禁止します。

【発行】なかのアセットマネジメント株式会社（設定・運用を行います）

【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第3406号

【加入協会】一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

【お問い合わせ先】電話番号：03-3662-1401 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）

<https://nakano-am.co.jp/> ホームページからもご覧になれます。